

きょうらいしんぶ
①9 教来石民部館跡



教来石民部館跡

「鬼美濃」として恐れられた馬場信春の館跡と伝わる。馬場信春は、もとは教来石景政と名乗った教来石氏の一族である。発掘調査や地中レーダー探査により堀跡などが見つかっており、出土遺物から館があった時期は14世紀前半から16世紀中頃と考えられている。

ささお
②0 笹尾塁跡



笹尾塁跡

武田信虎が信濃との国境を強化するために築いた砦跡で、南側に大きな堀や土塁をとまなう曲輪が残っている。北杜市指定史跡。釜無川を渡った対岸に鳥原城山がある。異常時には笹尾塁で鐘を鳴らすと鳥原城山で太鼓を打ったとされる。

よろいどうかん ぜおん
②4 鎧堂観世音



鎧堂

十一面観音を崇拜する源義光は合戦の際にそのご加護を受け、十一面観音像を祀るお堂を建てた。併せて自身の甲冑を一式奉納したことから、鎧堂観世音と呼ばれる。武田信玄は信濃攻略の際にここで戦勝祈願した。

やしろし
④6 屋代氏館跡



屋代氏屋敷跡

武田氏家臣の屋代勝永の居館跡。居館の周囲に築かれた土塁の一部が残っている。発掘調査では主屋、台所、馬屋と考えられる建物跡などが発掘された。当時の領主層の生活を知る上で貴重な発見となった。北杜市指定史跡になっている。

おおわたり のろしだい
⑤2 大渡の烽火台跡



大渡の烽火台遠景

鳥井坂トンネルの上にある。頂上に主郭が造られ、主郭の西側に堀切があり、防御を意識して造られている。北杜市指定史跡になっている。

しょうこう
⑦0 常光寺



武川衆の一門、青木氏の菩提寺。寺の開基は二代目の青木常光であり、青木氏歴代の墓がある。墓は市指定史跡。

りゅうがん
②9 龍岸寺



真田信伊の墓

北杜市指定文化財である真田隠岐守信伊の墓がある寺院。信伊により再興されたため、真田氏の家紋である六文銭を寺紋に掲げている。信伊は武田氏家臣であったが、武田氏滅亡後は徳川氏に仕え、主君である徳川家康と兄である真田昌幸の仲介役を務めている。新府城跡付近に信伊の屋敷跡と思われる隠岐殿遺跡がある。

わかみこ
④0 若神子城跡



若神子城跡（古城）

佐久往還や棒道が交差する交通の要衝を抑える重要な城である。城は北城、古城、南城に分けられる。古城は源義光の城とされ、北杜市指定史跡になっている。北城は天正壬午の乱で北条氏直が造った。現在はテニスコートの南側に大きな堀切や張り出しをもつ土塁が残る。

④4 三嶋神社



三嶋神社拜殿

天文五(1536)年に武田信虎が佐久地方の武将である平賀玄信を攻める際にこの神社で休憩・戦勝祈願し、下馬札を与えたとされる。以来、武田氏が崇拜した。

ししく
④9 獅子吼城跡



獅子吼城跡遠景

15世紀初め頃に造られとされ、江草氏が使っていた。天正壬午の乱では北条氏が陣取り、徳川氏家臣の服部半蔵(正成)により制圧された。城の東側に空堀や石積み土塁が残る。北杜市指定史跡になっている。

ひし
⑤5 比志神社



比志神社拜殿

たいほう
大宝元(701)年に建てられ、日本三代実録に名のある古社。本殿は大永八(1528)年に再建され、室町時代の信州系大工の技巧が見られ、昭和40年に県指定文化財になった。境内の大杉は県指定天然記念物である。

⑦1 日ノ出城跡



日ノ出城跡は穂坂路と逸見路の分岐点で、塩川によって削られた断崖上にあり、交通と防衛を意識した場所にある。武田信長に従った日一揆が使い、跡部氏や逸見氏などと戦った。韮崎市指定史跡になっている。